

イランに関するフェイクニュースが爆発的に増加

Iran's unrest triggers explosion of fake news

<https://thegrayzone.com/2023/01/19/irans-unrest-fake-news/>

by S. SADEQI AND C. WEAVER

リード

この数カ月間、企業メディアや著名なインフルエンサー、欧米の指導者たちがイラン政府に対して激しい非難を加えた。その中には、捏造も混じっている。しかしそのほとんどは修正されないままだ。

以下本文

2022年9月、イランで起きた抗議デモは、表向きは警察の留置場で女性が死亡したことに対する反応として始まりだったが、欧米、イスラエル、サウジアラビアの通常の容疑者だけでなく、これまでイラン問題にコメントした実績のない著名なソーシャルメディア・インフルエンサーからも、同政府に対するかつてないほどの国際的反発を招いている。

イランは、制裁、武装蜂起、軍事介入、あるいはその3つの組み合わせなど、あらゆる手段で政権交代への国際的な支持を得ることを唯一の目的とした、慎重に調整された情報戦の標的となっているのである。

ペルシャ語を話せず、イランの政治や文化をほとんど理解していない数十億人のインスタグラムのフォロワーという、ほとんど無批判な視聴者の前で、ハリウッド俳優や落ち目のロッカー、トップモデルたちが、イランの治安部隊によるデモ隊への報復的な家屋解体や虐殺などの悲惨な虐待を描いた病原ウィルス投稿をしています。

BBC から New York Post までの西側メディアが、イランがウクライナでロシアに殺された民間人よりも多くのデモ参加者を殺害したと非難する報道を次々と展開する一方で、シンクタンクの論者や NATO 諸国の政府指導者は、テヘランは反政府デモに参加しただけで 15000 人に死刑判決を下したとしている。

このような恐ろしい話は、確かに政権交代を求める声を正当化するように思える。が、ただひとつ問題がある。それらは単なる作り話なのだ。

実際、この数カ月間、旧来型メディアや著名人、欧米の指導者たちがイラン政府に対して行った最も扇動的な非難の中には、純粋な捏造もあれば、インパクトの割に重要な文脈が欠けているものもある。

そして偽の報道や偽の投稿のうち、公式のファクトチェッカーによって撤回されたものは皆無である。

以下に挙げる政権交代の偽情報の例は、2022年9月以来のプロパガンダ戦争のほんの一例だ。しかしこれだけでもはっきりすることがある。

企業メディアやソーシャルメディアのファクトチェッカーは、イラン政府を題材にするときは、最低の誠実基準さえも行使していないということだ。

BBC ペルシャ、「イランはウクライナのロシア人より多くの人を殺している」と非難

11月18日、BBC ペルシャは、車両に火をつけて歓声を上げるイラン人の群れを写した画像をネットメディアに投稿した。

見出しには、こう書かれている。「抗議行動に対する血なまぐさい弾圧は、ウクライナ戦争並みの死者を出した」

この誇張された見出しは、BBCの記事の第3段落で、全く異なる、恣意的に選ばれた日付を指していると説明されている。

BBCの記事はこうだ。

「人権団体の報告によると、9月22日から10月17日の間にイランでは224人のデモ参加者が死亡し、9月1日から9月25日の間にウクライナでは216人のウクライナ人が死亡している」

どの「人権団体」がこの曖昧な文言の統計を提供したかは明記されていない。

「クライマーが逮捕、家は取壊しに」と言うフェイクニュース

CNNは、2022年10月15日、イラン人女性ロッククライマー、エルナズ・レカビさんが韓国の大会にヒジャブなしで参加したことへの罰として、実家を取り壊されたと報じた。

イラン代表チームのメンバーであるレカビは、韓国の大会後に講演し、スクリーンを着用しなかったのは、急な大会のため意図的ではなかったと説明し、政治的主張として意図したものではなかったと述べた。

英語サイトでは、レカビ選手が拉致され、その報復として彼女の実家が「政権」によって破壊されたとの記事が流され始めた。

BBC、The Guardian、Le Mondeなどは、レカビが行方不明になったと決めつけ、その行方を懸念する声を上げていました。

誤報が相次いだため、イラン大使館はツイッターで記録を訂正した。

その後、レカビはInstagramで「元気で帰宅の途中です」と発表した。

大切な実家が破壊されたことについて、地元メディアは次のように報じている。壊された30平方メートルの建物は、レカビの兄が所有するもので、違法に建てられた120平方メートルの建物の一部である。そこは実家ではない。

大会のちょうど1年前の2021年10月18日、レカビの兄はザンジャン州の当局から不正用途の通知を受けた。そこは農地として指定されていた。違反が解消されなかったため、建物は取り壊された。

「1万5千人のデモ隊参加者に死刑宣告？」

ハリウッドセレブのトルドーが、デマを流してイランを糾弾

イランの著名な学者であるヴィオラ・デイヴィス、イライジャ・ウッド、ソフィー・ターナーらとともに、カナダ首相のジャスティン・トルドーは、共同アピールをソーシャルメディアに掲載した。

そこには「イランが1万5千人の抗議者に死刑宣告」と記載されていた。

「イランは抗議行動に参加しただけの人たち1万5千人に死刑を宣告した」という異常な主張を押し出した『ニューズウィーク』の記事は、たちまちソーシャルメディアで大評判となって拡散された。

しかし、この主張は公式の「ファクトチェッカー」によって否定されている。BBC、The Guardian、Time Magazineも同様の措置を取った。

この問題を騒ぎ立てた他の著名人投稿を削除する中、イライジャ・ウッドのツイートは、「1万5千の死刑囚」見出しを掲げ続け、6000以上の「いいね！」を獲得して今も活動している。

この偽情報の根拠となったのは、イラン議会が暴力的な暴徒に対して、より強力な措置を取るよう求めた公式な要請である。

その内容は次のようなものである。

「290人中227人の国会議員が、最近の暴動における挑発者たちにしっかりと対応するよう司法に求めた…。

私たちこの国の代表は、司法府を含む国のすべての関係者に、『ムハリブ』への早急な対処を求める…。

ISISのようにあらゆる種類の武器を使い、人々やその財産を攻撃するような人々に対し、法律に従って非妥協的に毅然として立ち向かうべきである。これらの問題において妥協することはできない。

ムハリブは、「暴力集団」と訳される。デモ参加者とは異なり、武器を持ち陰謀的な活動に従事する人々を特に指す。

法律では、ムハリブは処刑されるか国外追放されることになっている。

では、「政府に抗議しただけで1万5000人のイラン人が死刑になった」という全くのたまたまな主張はどこから出てきたのだろうか。

イラン移民のオミド・メマリアンは、CIAの情報提供者である故ジャマル・カシヨギの名をとった組織「Dawn MENA」で働いている。彼が「幻の1万5千人」について最初にツイートした。

彼のツイートに続いて、カリム・サジャドプールが登場する。サジャドプールは、ベルトウェイを拠点とするイランの反政府活動家で、NATOの国費を投入したカーネギー財団に雇われている。

彼こそが、イランが1万5千人のデモ参加者を投獄したと、何の根拠もなく主張したのである。

メマリアンとサドヤドプールはいずれもイラン国外に住んでいる。彼らは生活のすべてをアメリカ帝国のエリート機関に依存している。

それにもかかわらず、Reader Supported Newsは、「彼らがイランの著名人であり、外国政府からの対応を求めている」と述べ立てた。

三度も死んだ女の子

9月28日、子供向けファンタジー作家で大金持ちのJ.K.ローリングは、次のような投稿をリツイートした。

こんなふうな説明がつけられた。「イランのある父親が、娘の結婚式で踊るために長生きすると約束した。しかし娘は髪を隠していなかったためにイランの道徳警察に殺され、父親は娘の葬儀で踊ることになった」

この感染力の強いツイートには、2018年に放送されたアゼルバイジャンのドラマシリーズ「Ata Ocagi」(Hearth of Father)のビデオクリップが添付されていた。

「偽の死んだ少女」はシリアの「政権」に殺され、生き返ってはコビドに屈し、さらにアヤトラの治安部隊に無残に切り捨てられた。

これほど何度も公式の敵やウイルスにより迫害されて、これほど何度も恐ろしい死を遂げた人はいないでしょう。

国連イラン専門家の想像によるクルド人名禁止令

2022年11月に国連で行われた記者会見で、イランの人権状況に関する国連の特別報告者であるジャイド・レーマンが虚偽の主張をした。

「イランはクルド人の名前の戸籍登録を禁止している」

実際には、イラン政府のオンライン公式名簿によると、少なくとも5686人が自分の名前をジーナと登録しており、これはマサ・アミニのクルド名だった。

レーマンは述べた。

「クルド人は歴史的にも現代的にも、基本的人権を否定されてきた。例を挙げると、ジーナはクルド人の名前ですが、国家はクルド人のアイデンティティをいかなる形でも認めません。このため、彼女はその名前で戸籍登録できませんでした」

下の写真(略)は、イランの公式戸籍登録のスクリーンショットで、少なくとも5686人がZhinaと名付けられ、それがまだ有効な名前であることが示されています。

なぜ国連がいまだにジャビド・レーマンのような人物をイランの内政に関する専門家とみなしているのか、謎である。

元サッカー選手のアリ・カリミ、あからさまな嘘でハットトリックを達成

インスタグラムで1440万人のフォロワーを持つ元イランのサッカースター、アリ・カリミは、彼の生まれた国の現在の騒乱に特に影響力のある役割を果たしている。

彼はまた、広く流布された 3 つの嘘に貢献している。

信用がないにもかかわらず、“意地悪爺さん”のようなカリミは、反イラン宣伝のためにドイツ大統領に温かく迎え入れられた。

アリは、下の写真（略）は DShK 重機関銃によって射殺されたイランのデモ参加者であると主張している。この銃は長さ 108 ミリメートルの弾を発射する。その衝撃波は、神経に致命的なダメージを与えるほど破壊的です。

アリ・カリミのインチキ画像は、彼のファンの一人によってすぐに否定された。

「私はアリ・カリミを愛していたし、今も愛している。しかし正直に言うと、これは隣村の私の友人が数ヶ月前にバイク事故に遭った後の写真だ」そして、そのファンは右側の写真を掲載し、「これは自分の携帯から撮った全貌だ」と記載した。

その後判明したのは、写真の男性は、ハメダン州ヴァリネ村に住むアリ・ハミドヴァンドさん。

022 年 7 月 13 日に起きたバイク事故の後、彼の足は切断された。

憤慨した彼は、アリカリミが写真を反政権キャンペーンに悪用したと非難し、司法当局に措置を取るよう求めた。

アリ・カリミは、他にも 2016 年にアフガニスタン起きた爆破事件の画像を盗用し、イランのクルド人の街でイラン警察が行った虐殺と偽っている。

Karimi はまだ他にもやっている。パキスタンの慈善団体の 2012 年募金活動から写真を盗み出しウソのキャプションを付けている。

「灼熱の中、弟を膝に抱く少女の姿が映されている。イランの治安部隊に虐待されているバルーチ族の子どもたちを描いたものである。この人たちの権利は、生涯を通じて常に侵害されてきた」

実在しない死者が、生きているイラン人ラッパーであることが判明した

ナディア・アレファニという人物は、イランの治安部隊による虐殺の犠牲者として紹介されている。

しかし、ソーシャルメディアに出回っているアレファニの画像は、あまり有名ではないが、ニルーファルというイランのラッパーが生きている姿を描いたものだ。

ひょっとすると Arefani 自身は、まったく存在しないかもしれない。

この写真は、政府に対する武装を奨励し、暴力的な反乱を自由と独立への道として描いていた人物によって最初に共有された。

この人物は、写真にはナディア・アレファニという人物が写っているとし、イランの警察に殺されたのだと主張しました。

この写真はその後、サウジアラビアとイスラエルが支援する MEK 教団の関連団体である女性委員会 NCRI のツイッターアカウントに転載された。

多くのソーシャルメディアユーザーは、この投稿に写っているのはニルーフアルというイランのラップミュージシャンであるとすぐに指摘しました。

ブライアン・アダムス、イラン人歌手の逮捕について嘘をつく

1980 年代のポップ・ロックの旗手、ブライアン・アダムスは、彼の友人であるイラン人歌手、サーヴァン・ホスラヴィ (Khosravi) が「Mahsa Amini の殺害に抗議し、女性の権利運動を支援したために逮捕された」と発表した。

アダムスのツイートを受けて、ホスラビは自身のアカウントでつぎのように訂正した。

「自分と弟の Zaniar がイランの治安機関に拘束されたり、収監されたりしたことは一度もない。ご安心ください」

NATO 研究員の「レンタル群衆」

バーバラ・スラヴィンは、NATO とサウジアラビアが後援する大西洋評議会のスタッフで、「イランの未来」イニシアティブの前ディレクターである。彼女は「イラン全土で開催された政府を支持する大規模な集会参加者は、「レンタル群衆」だと主張した。「広場は退屈なスローガンを唱えるために、無料ランチを約束された絶望的な人々で埋め尽くされました」無料で配布される飲み物やお菓子によって、集会の参加者が膨れ上がるという考え方は、1979 年のイラン革命以来、伝統メディアで繰り返されてきた。

しかし、イランで最近行われた大規模な政府支持者集会での食糧配給の証拠写真は存在せず、フードトラックも見当たらない。

スレイヴィン氏は視覚的な証拠を一つも添えていない。

当日、吹雪の中、イラン人が街頭に繰り出す動機付けとして、無料の食料が魅力的だったという説明もない。

Euronews は、イラン全土のデモで参加者が銃撃されたと報道、証拠はゼロ

ユーロニュースのペルシャ語版ウェブサイトは、イランの治安部隊が全国でデモ隊に発砲したと主張する一連のランダム画像を掲載した。

ユーロニュースは、「ソーシャルメディアで流れているニュース」を総合し、テヘランをはじめ、イスファハン、アラク、サナンダジなどの都市で抗議活動が行われたと報道した。

また、アザディ広場周辺やイスファハン、西部の都市で銃撃戦があったと伝えている。

Euronews のレポートには、「ソーシャルメディアに掲載されたニュースに基づく」「Euronews はニュースの信憑性を確認できない」「衝突が起こったと言われている」などの注意書きがあった。

Euronews は、その扇動的な主張を裏付ける証拠を持ち合わせていなかったが、編集者を拘束するものはなかった。

政権交代への熱狂に満ちた西側のメディア文化では、ニュースは物語よりも重要ではないようだ。

.....

かなりしんどい作業でしたが、他に紹介する人はいないようなので頑張りました。内容が全て正しいとは言い切れませんが、ゼロよりははるかにマシだと思います。今後も、情報の非対称性の打破に挑んでいきたいと思います。